

第13回白河市複合施設基本設計検討委員会 議事要約

1 日 時 令和5年3月22日(水) 15:30~17:20

2 場 所 白河市役所本庁舎 4階 全員協議会室

3 出席者

委員長：市岡 綾子 (日本大学工学部 専任講師)

副委員長：藤田 龍文 (株式会社楽市白河 代表取締役)

委員：青砥 和希 (一般社団法人未来の準備室 理事長)

浅川 なおみ (白河市公民館運営審議会 副会長)

大住 由香里 (公募)

白岩 麗奈 (公募)

徳田 芳江 (白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 委員)

平久江 勝志 (白河市消防団 白河方面隊長)

牧田 恵 (NPO 法人子育て環境を考える虹の会 副理事

白河市ファミリーサポートセンター 長兼アドバイザー)

村越 美穂子 (白河市健康づくり推進協議会 会長)

事務局：鈴木 市長公室長、仁平 地域拠点整備室長、八巻 主任主査兼係長、穀田 副主査、

原 建築住宅課長、松川 課長補佐兼係長、山本 主査

その他：(株)石本建築事務所 (富宇加、荒井)

4 次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 基本設計書の成果報告について

(2) 複合施設整備に関する概算事業費等について

(3) その他

3. 閉 会

<議事概要>

【委員長】

本日は、第13回目、最終の委員会となります。令和3年6月の第1回より委員の皆様から様々なご意見を賜り議論を重ねてきました。今回は、基本設計書について最終の確認をいただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。(1)基本設計書の成果報告について、事務局から説明をお願いします。

(1) 基本設計書の成果報告について

(複合施設整備基本設計の概要、これまでの経過により事務局及び(株)石本建築事務所が説明)

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

【委員】

とある規模の大きな立体駐車場を利用したときに混雑していたため、出庫までに40分から50分程度かかることがありました。今回計画している立体駐車場は、出庫までにどの程度の時間がかかる想定でしょうか。

【事務局】

仮に駐車料金を徴収するとした場合、出入口にゲートを設置することとなり、料金を徴収しない場合に比べて時間がかかることが想定されます。

駐車料金を徴収するのかどうかについては今後の検討事項のため、現時点では出庫までの時間は計算しておりません。

【委員】

工事期間中に市民が利用できる駐車場はどこになるのでしょうか。

【事務局】

「複合施設整備基本設計書の概要」資料の22ページをご覧ください。

敷地造成や車庫・倉庫を解体する「STEP1」の段階では、市役所庁舎の北側及び南側、の駐車場と臨時駐車場の一部が引き続き利用できる予定です。続いて、立体駐車場を建設する「STEP2」の段階では、市役所庁舎北側の駐車場と臨時駐車場が利用できる予定です。複合施設建設が始まる「STEP3」及び「STEP4」では、完成した立体駐車場と市役所庁舎の北側の駐車場が利用できる予定です。最後に「STEP5」の段階では、詳細は今後の調整になりますが、立体駐車場を利用しながら、市役所庁舎北側の駐車場の整備を東西で工区分けし、片方は利用できるようにして順番に整備する予定です。

この工程により通常利用の範囲内であれば、駐車場が概ね足りるものと考えています。

【委員】

駐車場は高齢者の方も利用されると思います。看板等で駐車場利用の動線を分かりやすく表示していただきたいと思います。また、工事期間中に利用できる駐車場については、ホームページ等を活用して広く周知していただきたいと思います。

【事務局】

承知しました。

【委員】

「複合施設整備基本設計書の概要」資料の22ページ、「STEP2」の図にある中央の一般動線を示した青矢印ですが、この時点では敷地に高低差が生じていると思われるので、通行は難しいかと思えます。

【(株)石本建築事務所】

この青矢印は歩行者も含めた動線を示しておりましたが、分かりづらいため、表現の方法を検討します。

【事務局】

この青矢印については削除した方が分かりやすいので、そのように修正いたします。

【委員】

「複合施設整備基本設計書の概要」資料の19ページ、環境配慮イメージ図に地中熱利用と記載がありますが、全国的にはどの程度取り入れられているものなのでしょうか。

【(株)石本建築事務所】

近隣の施設では、須賀川市のt e t t e (テッテ)が地中熱利用をしております。その施設が位置しているエリアの地中の状況によるところではありますが、最近では採用している施設が増えてきている状況です。

【委員】

地中熱利用を採用することで、国からの補助金が増えるということはあるのでしょうか。

【事務局】

改めてZEB(ゼブ)についてご説明させていただきますと、ZEB(ゼブ)には三段階ありまして、一番上のランクの「ZEB(ゼブ)」は、省エネルギーと創エネルギーを合わせて100パーセント以上の建物エネルギー消費量を削減するもの。二番目の「Nearly ZEB(ニアリーゼブ)」は、省エネルギーと創エネルギーを合わせて75パーセント以上削減するもの。一番下の「ZEB Ready(ゼブレディー)」は、省エネルギーだけで50パーセント以上削減するものになります。今回は、二番目のNearly ZEB(ニアリーゼブ)を目指すことで検討しております。

国はZEB(ゼブ)化を推奨しておりますが、現時点では全国的にも先進的な取り組みといえます。

なお、ZEB（ゼブ）に取り組むことで、活用を予定している国の補助金の対象事業費が嵩上げされます。

【委員長】

「複合施設整備基本設計書の概要」資料の19ページにNearly ZEB（ニアリーゼブ）に取り組むという表記はしないのでしょうか。

【事務局】

現時点では、Nearly ZEB（ニアリーゼブ）と断言はせずに、今後の実施設計において、効果と整備費用とのバランスをさらに精査しながら、検討していきたいと考えております。

なお、一番下のZEB Ready（ゼブレディー）であっても補助金の嵩上げが受けられることについては確認しております。

【委員】

2階西側のテラスに「こどもたちの丘」という表記がありますが、この部分は子どものエリアとして整備する方針となったのでしょうか。市役所庁舎との往来もあるので、大人も含めて様々な方が利用できるようなスペースでもいいのではないのでしょうか。

【事務局】

名称は確定したものではありませんが、子育て支援の窓口と隣接しているエリアですので、子どもが主な利用者という想定のもと記載しております。詳細は実施設計の中で検討を進めていきます。

【委員長】

えんのある広場やだんだんテラスには（仮）の表記がありますが、こどもたちの丘には（仮）の表記がありませんので、確定したものだと受け取られるのではないのでしょうか。

【事務局】

再度精査をしまして、仮称である部分には表記をいたします。

【委員】

「複合施設整備基本設計書の概要」の資料のどこかに「災害時には避難所として利用できる」という表記を加えてほしいと思います。

【事務局】

1ページの右下部分に複合施設と市役所庁舎との関係性を示した図があります。その部分に「災害時の避難場所」と表記しておりますが、より分かりやすくなるよう平面計画等への表記についても検討いたします。

【委員】

施設の利用料は、他の公共施設と同等程度になるのでしょうか。

【事務局】

具体的な利用料金については条例で定める必要がありますが、市には使用料算定基準がありますので、これに沿いながら、現行の公共施設の利用料金の水準も考慮しつつ、来年度以降に策定する管理運営計画の中で検討を進めていきます。

【委員】

「複合施設整備基本設計書の概要」資料の17ページ、だんだんテラス（仮）の下イメージ図を見ると、階段部分に隙間があり、階段を上り下りする人が下から見えてしまうのが気になりました。

【事務局】

開放感を表現するためにパースはこのようになっていますが、実際にはパネル等を取り付けて見えないようにするなど対策を検討したいと考えています。詳細は実施設計の中で詰めていきたいと思います。

今回のパースにパネル等を反映させるのか、あるいは注釈を入れて分かりやすいようにするのかなど表記の方法については検討いたします。

【委員】

避難経路となるような屋外の階段照明は、足元が確認できるように適切に配置してほしいと思います。

【事務局】

承知しました。

【委員長】

ご意見やご質問がなければ、検討委員会として、基本設計書の最終確認を行ったとしてよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

【委員長】

それでは検討委員会として基本設計書の最終確認を行ったことといたします。

続きまして、（2）複合施設整備に関する概算事業費等について、事務局から説明をお願いします。

（2）複合施設整備に関する概算事業費等について

（複合施設整備に関する概算事業費等について により事務局が説明）

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

【委員】

現時点での想定で構いませんので、財源の内訳を教えてください。

【事務局】

現時点での資金計画では、まず、合併特例債で約19億円を充当する予定です。次に、国の補助金については、対象事業費が約30億円で補助率が2分の1となっておりますので、約15億円が確保できる見込みであり、関連する補助金等でさらに上乗せを目指してまいります。残りについては、交付税措置がある公共事業等債と公共施設整備基金で賄う計画であります。

市の施設整備等に活用するために積み立ててきた公共施設整備基金の残高は約38億円ありますが、これを全額使い切る訳にはいきませんし、一方で、このような長年使う施設は将来の受益者にも応分の負担をしていただくという趣旨から起債も活用するものがあります。ただし、将来の方々に過大な負担をかけることや財政の健全性に悪影響を及ぼすことは避けなければいけませんので、基金の起債のバランスを十分に検討してまいりたいと考えております。

【委員】

須賀川市のtette（テッテ）は、どの程度の太陽光パネルが搭載されているのでしょうか。また、ZEB（ゼブ）を取得しているのでしょうか。

【事務局】

tette（テッテ）は、多少、太陽光発電や省エネルギーの設備を導入しているとは思いますが、おそらくZEB（ゼブ）の認証はなされていないと思います。

【委員】

今後、事業費について説明していく際には、単純にこれだけの整備費がかかりますという内容だけではなく、老朽化した公共施設を統合することによりランニングコストが削減できるというメリットについても触れた方がいいのではないのでしょうか。

【事務局】

承知しました。

【委員長】

続きまして、(3) その他について、事務局からお願いします。

(3) その他について

(検討委員会及び庁内検討会議における今後の検討事項及び口頭により今後のスケジュールについて事務局が説明)

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

【委員長】

管理運営計画と実施計画を令和5年度から6年度にかけて策定していくとすると、工事は令和7年度から始まるというイメージでしょうか。

【事務局】

管理運営計画と実施設計については、丸々24ヶ月かかるという想定ではなく、実施設計完了後、速やかに諸手続きを経て、令和6年度中には工事に着手できるイメージで工程を整理しております。

【委員長】

ご意見やご質問がなければ、最終の検討委員会ですので、委員の皆さまから一言を頂戴したいと思います。

【委員】

この施設について、皆さんと議論することができて本当に良かったと思っています。今の子どもたちのためにも、将来の子どもたちのためにも、責任のある仕事をしたいと思っていました。何でこんなものつくったんだと10年後の高校生に言われたいような、未来をイメージした議論ができたのではないかとと思っています。

【委員】

コミネスについても設計段階から関わらせていただいて、自分の意見を取り入れていただいた部分がありました。今回の複合施設も関わらせていただいて、このような施設を建設するタイミングに自分がいることができて、本当に恵まれた人生だと感じました。

【委員】

このような施設がどのようにつくられていくのかを知ることができて、貴重な体験になりました。須賀川から白河へ移住した住民ですが、この検討委員会に入ってから初めてtette(テッテ)に行ったというところもあって、当初はそもそもこのような施設が必要なのかという思いもありましたが、それは反対に、皆さんが活用できるように広めていかなければならないのだと感じました。

【委員】

このような場に初めて参加させていただいて、委員の皆さんや市の皆さんの考えを聞いて、頼もしかったり、嬉しかったり、期待に満ちた感情になりました。

私は白河で生まれましたが、学生時代は離れており、約7年前に戻ってきました。子育てを白河でする中で、子どもたちには白河で生まれたことを誇りに思って大人になってほしいと考えるようになり、大人になったときに故郷を大事にしてほしいと思うようになりました。

私も微力ではありますが、白河がより良いまちになるように携わられているのが、とても嬉しく思いましたし、今後も何か機会がありましたら、お手伝いさせていただきたいと思っています。

今回とても勉強になり、これからの白河や自分の人生について考える機会となりました。本当にありがとうございました。

【委員】

良い施設が出来上がることを期待しております。つくってよかったと言われるように、白河にこんな施設があるんだよということをもっともっとPRをして、若い世代に引き継いでいけたらなと思います。ありがとうございました。

【委員】

私は土木関係の会社におりますので、委員会ではその視点から発言をさせていただきました。

構造上、災害対策本部が設置できないということが残念ではありましたが、最終的には本庁舎を災害対策の拠点として、複合施設を避難場所とすることで整理がなされて安心しました。

【委員】

長い期間本当にありがとうございました。

このような施設はやはり公共じゃないとできない部分もあるでしょうし、参加させていただいて、多くの方々の多くの意見をくまなく取り込むというのが大変なことなんだというのをすごく感じました。

まだまだ産みの苦しみの苦労の部分の段階だと思いますが、未来の子どもたちに恥じないような施設にできればいいなと思います。

また、約2年この委員会に所属させていただいたので、多くの市民の方に対して、こういった苦労があって、こういった思いがあって施設が出来上がってるんだよというのを、一般市民の目から伝えていきたいと思いました。

【委員】

微力ながら、この事業に携わってこられたのが非常に光栄だと思っております。発言する機会は少なかったですが、私には考え付かない、皆さんの様々な視点からの意見に驚きましたし、自分の視野の狭さに気づかされました。

施設ができるのは楽しみですが、自分自身が視野を広げていって勉強していくことが必要だなと感じました。貴重な経験となりました。ありがとうございました。

【委員】

様々な意見を聴かせていただいて本当に感謝しております。

委員の皆さんが本当に多角的な視点や発想をお持ちで、私のこれまでのキャリアからは思いつかない、例えば、総合健診室が使われていないときはもったいないので貸室として利用してはどうかという意見は新鮮でした。

普段は比較的のものを言う方ですが、この委員会では熱い思いを語っていた皆さんに圧倒されたところがありました。約2年間本当にありがとうございました。

【委員長】

最後に、委員の皆様への御礼を申し上げます。これまで皆様のそれぞれのお立場でこの施設を大切に思われて、将来に向けて責任あるご発言をいただきました。その結果、素晴らしい内容のものが出来上がりました。大変感謝しております。

私は市外居住者ですが、白河は本当に素敵な場所で、東北の玄関口として担ってきた役

割がとても大きいまちだという魅力を、関われば関わるほど実感しております。昔から変わらずに担っている白河の役割を後世に伝えるために、多くの方々が集まる場所として、この複合施設がほっとする場所であってほしいと願い、今まで携わってまいりました。

この場所を使う方は子どもや子育て世代だけではなく、高齢者の方も含まれますし、また白河に住んでいる方も住んでいない方も、皆さんこの場所を大切に思い、そして大事に使っていただけるような場所になってほしいと期待しています。

今日はWBCで日本が優勝しました。村上選手が大変苦勞している状況を母のような思いで見えていましたが、彼の力を皆が信じていたからこそ、準決勝の最後の場面で彼がようやく覚醒し打ったというストーリーについては、この施設においても同じだと思っています。産みの苦しみを経験しましたが、皆様が見守ってくださったことで、いいかたちが出来つつあると感じています。彼の顔を見ていると、苦しい経験をしたからこそ最後には輝いている気がしています。産みの苦しみというか、つらい思いをしたからこそ、輝き、人に感謝して、皆に愛されるような気がしました。この施設も村上選手のように、皆から好かれる、ほっとする、愛される場所になってほしいと期待をもっております。

これまで至らない部分がたくさんあったと思いますが、皆様に支えていただきまして、今日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

設計事務所の方、それから事務局の方もまとめていく作業は大変だったと思いますが、一旦かたちとしてまとまりましたので、これをベースにさらに良くなるように、さらに皆に好かれる施設となるように進めていただければと願っております。

最後に、皆さまのご多幸と今後のご発展を祈念しております。

それでは私の役目はここで終了し、進行を事務局に戻します。皆様ありがとうございました。

【事務局】

最後に市長公室長より皆様へ御礼のごあいさつを申し上げます。

【市長公室長】

一昨年の6月からこの検討委員会が始まりまして、今回の会議が13回目になるわけですが、1年10ヶ月にわたり、毎回真剣な議論をしていただきありがとうございました。

例えば図書館とか文化会館という目的があれば、施設整備の方向性も見出しやすいところはあると思いますが、この施設は今後白河市が持続的に発展していく上で、諸課題を解決したり市民の方がいきいきと暮らせたりするような場所をつくろうということで始まっております。

皆様には、真剣に参画、協働していただけたことに心から感謝申し上げます。特に、この基本設計に入る前の基本計画の段階から委員長と副委員長にはご参画いただきまして、長丁場のご検討に対し、心から感謝申し上げます。

設計のかたちは固まってきましたが、ここをどう使っていきのかが本題と認識しております。引き続き、管理運営計画、実施設計を進めていきますが、皆様にはなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、御礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。

【事務局】

それでは以上をもちまして、閉会とさせていただきます。約2年にわたり委員の皆様

は、熱心なご審議ありがとうございました。